

「ひと」、「まち」、「もの」の連動を俯瞰する 技術者育成に向けた長崎百景プロジェクトの推進

研究期間 平成 30 年度～31 年度

情報システム学部 情報システム学科 吉村 元秀

1. はじめに

本プロジェクトは平成 30 年度から平成 31 年度までの 2 か年を予定しており、本報告書では、平成 30 年度の 1 年目の活動について報告する。本研究は、長崎の新たな観光資源を学生の視点でアーカイブ化する試みである。学生がライターとなり、「長崎の風景」を様々な視点にて取材し、記事を編集する。記事をアーカイブ化・公開するサーバーの開発・設定も学生が行う。ワークショップなどの企画・運営も含めて、「ひと」、「まち」、「もの」の連動を技術者の視点で俯瞰することで次世代の技術者を養成する。本研究の大きなテーマとしては、「写真」を利用した「長崎の風景」の可視化である。平成 30 年度の成果は、下記の通りである。

- (1) アーカイブ用 Web アプリケーションの開発
- (2) 「絵本づくりワークショップ」の開催
- (3) 「写真に関するシンポジウム」の開催

2. アーカイブ用 Web アプリケーションの開発

本研究では、写真をもとに記事を作成し、それらをアーカイブ化、公開することで「長崎の風景」を可視化することを目的としている。今年度は、記事のアーカイブ化、公開のために試作・開発した Web アプリケーション「PaSHaRi」について報告する。

2.1 Web アプリケーション「PaSHaRi」

本学に入学してくる県外生に長崎についての印象を聞くと「食べ物がおいしい！」という回答が非常に多く見受けられる。実際、さまざまな観光統計データでも、長崎での観光目的において「食」が大きな要素となっていることが報告されている[1]。「長崎の風景」というと歴史情緒あふれる和華蘭文化や自然豊かな風景が思い浮かぶかもしれないが、それだけが「長崎の風景」ではない。国内観光の現状において、観光客の中心層は 20～40 代であることが観光白書[2]からわかっている。また、観光では、映像や写真などのコンテンツがその場所を訪れるきっかけとなることも多い[2]。これらのことも含めて、本研究のテーマは「長崎の風景」の可視化であることから、まずは観光資源として重要度の高い「食」を「長崎の風景」として撮影し、記事のアーカイブ化、公開を行う Web アプリケーションを試作・開発する。

2.2 「PaSHaRi」概要

「PaSHaRi」の動作画面を図 1 に示す。図 1 からわかるようにトップページのデザインは、本研究の大きなテーマである「写真」を活かしたシンプルなレイアウトとなっている。トップページ上部の

“検索”、“ライター”メニューから「記事」が検索、「ライター」が選択できる。“掲載応募”ボタンからは、ライターの登録が可能である。その真下の3枚の画像表示は、投稿された記事からランダムに選ばれた写真が表示されたものである。最下部の6枚の画像表示は、投稿された記事に掲載される写真が新着順に表示されたものである。最下部のそれぞれの画像を選択すると記事が表示される仕組みとなっている。開発言語としてフロントサイドで HTML、JavaScript、CSS を使用し、サーバーサイドで PHP (Ver.5.5) を使用している。CMS として WordPress (Ver.4.9.8) を採用し、投稿の維持管理を行っている。動作検証には PC 版 Chrome、iPhone 版 safari、Chrome、iPad 版 safari、Chrome を使用し、レイアウトの改変、表示をサポートしている。



図 1: Web アプリケーション「PaSHaRi」

近年、「インスタ映え」なることばが持つて囃されているが、このことばは、従来の記念写真的な撮影ではなく、「眼前の風景をいかに見栄え良く撮るか」ということを意識させる。本アプリケーションのトップページは、そのような時代背景を踏まえて、「食」でいうところの見栄えの良い“おいしそう”を目指している。また、本アプリケーションでは、複数のライターが協働して記事を蓄積できるので、学

生が記事のアーカイブ化、公開に容易に取り組むことができる。WordPress アカウントとサーバのログイン、編集の許可があれば誰でも編集ができ、メール送信による編集に対応している。現在は、試験的に「食」をテーマとしているが、長崎の様々な風景写真を追加しつつ、簡単にサイト構成を拡張できる。中程にある PHOTO←→MAP メニューは、現在の写真をタイル状にレイアウトするトップページデザインと地図をメインに写真が撮影された場所をマーカー表示するトップページデザインの表示を切り替えるメニューとなっている。

3. 「絵本づくりワークショップ」の開催

本ワークショップは、長崎県立大学シーボルト校後援のもと、長崎県文化振興課が推進する「長崎しまの芸術祭 2018」および長崎振興局が推進する「満月 BAR in 長崎出島ワーフ」の一部として、長崎県美術館ホールにて11/25(日)に開催した。テーマは、「絵本作りワークショップー組み合わせで創るものがたりー」としている。本件は、2020 年から小学校で必修化されるプログラミング教育[3]を踏まえ、ものを段階的に創り上げるプログラミング的思考を涵養する取り組みである。絵本を作るメインとなるのは複数枚の写真である。複数枚の写真にもものがたりを付与することで組写真を構成し、スケッチブックとサインペンやマスキングテープ等を駆使して絵本を創作する。総勢 10 名の参加者があり、大人から幼児まで幅広い年齢層に楽しんで絵本を創作してもらうことができた。本件は、基本的には、幼児から小学生高学年までを想定しており、絵本作りに使用する写真では、イラストレーターの STUDY 優作氏[4,5]にご協力いただき、STUDY 優作氏の作品である「ネコこのゴロ」のキャラクター「ゴロニャン」のぬいぐるみを長崎の景色に入れ込んだ写真を撮影し、絵本作りに活用した。図 2、3 に「ゴロニャン」を入れ込んだ写真の例を示す。図 4、5 に絵本作りの様子、図 6 に修了証授与の様子を示す。本件では、情報メディア学科 2 名、情報システム学科 4 名、国際社会学科 1 名、看護学科 1 名の学生が企画・運営に参画している。



図 2:ピザの写真(@大村市「waranaya」)with ゴロニャン



図 3: 彼杵茶の写真 (@東彼杵町「道の駅 彼杵の荘」) with ゴロニヤン



図 4: 絵本作りの様子 (学生アシスタントとともに)



図 5: 絵本作りの様子 (サインペンやマスキングテープの活用)



図 6: 修了証授与の様子

4. 「写真に関するシンポジウム」の開催

本シンポジウムは、今年度、長崎県立大学シーボルト校後援のもと、長与町町制施行 50 周年記念協賛事業として開催した。テーマは、「限りなく心の表現写真作品を求めて」としている。本件、講演 2 件とパネル討論をプログラムとしており、本学中央棟 M103 教室にて 2/10(日)に開催した。講演 1 件目は、「こころの瞬間を写すー学生に寄り添う写真ー」というテーマでシーボルト校写真部の顧問でもある吉村が講演を行った。日頃、大学生が生き生きと活動している様子を切り撮った作品を紹介しつつ、写真にものごたかりを付与する際に重要な要素となる「光」、「構図」、「色」などについて紐解きながら、写真表現の高め方について解説した。講演 2 件目は、「長崎・潜伏キリシタン祈りの里」というテーマで全日本写真連盟総本部理事の池田勉氏が講演を行った。長崎は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界遺産として登録されたばかりであるが、池田氏は、「長崎・天草潜伏キリシタン祈りの里」写真集[6]の著者である。講演では、キリスト教の伝来から復活に至る一連の歴史的局面や現在の教会堂と祈りの場面の一端を表した写真を紹介し、潜伏キリシタンの想いを語った。パネル討論は、全日本写真連盟西部本部事務局長の藤脇正真氏、写真家、登山家である大矢統士氏、写真愛好家の村木理氏、吉村とシーボルト校写真部「ぱしゃ。」代表の倉光哲也氏(情報システム学科 3 年)の 5 名をパネリストとして迎え、「なんで写真を撮るか！ー肖像権問題はどうか！ー」について会場からの質問も踏まえ討論を行った。シンポジウム参加者は、69 人であった。図 7 に吉村の講演の様子、図 8 に池田氏の講演の様子、図 9 にパネル討論登壇者の様子、図 10 に会場の様子を示す。本件では、情報システム学科 3 名、国際社会学科 1 名の学生が企画・運営に参画している。



図 7:「こころの瞬間を写すー学生に寄り添う写真ー」講演の様子



図 8:「長崎・潜伏キリシタン祈りの里」講演の様子



図 9:パネル討論(パネリスト)の様子



図 10: シンポジウム参加者の様子

謝辞

本研究における絵本作りワークショップにおいて多大なご協力をいただいた STUDY 優作氏に深く感謝いたします。

<参考文献>

- [1] 公益財団法人日本交通公社, 旅行年報 2016, 日本交通公社, 2016.10.
- [2] 国土交通省, 観光白書 2017, 日経印刷, 2017.9.
- [3] 文部科学省, 未来の学びコンソーシアム 小学校プログラミング教育必修化に向けてパンフレット, https://miraino-manabi.jp/assets/data/info/miraino-manabi_leaflet_2018.pdf (2019/4/9 アクセス) .
- [4] STUDY, 漫画でネコこのゴロ図鑑, 学研プラス, 2016. 9.
- [5] STUDY, 一コマ漫画でわかる ウサギさんの生態図鑑, ワニブックス, 2014. 10.
- [6] 池田勉, 長崎・天草 潜伏キリシタン祈りの里, 朝日新聞出版, 2018.7.